

拠点形成研究交流報告：東北大学学内連携セミナーの開催

研究拠点形成事業「食の安全性の飛躍的向上を目指した農免疫国際共同研究拠点形成」では、東北大学農学研究科が中心となり、東北大学医学系研究科、歯学研究科、薬学研究科と連携することで、5年間の研究事業を精力的に推進しております。今回、研究拠点形成事業がスタートしてからの2年間の、東北大学内での学内連携による研究進捗を確認するためのセミナー「**Interdisciplinary Seminar on Mucosal Immunology at Tohoku University**」を、平成31年3月22日に東北大学片平キャンパス知の館で開催しました。研究拠点形成事業に関わる農学研究科、歯学研究科、医学系研究科の大学院生、若手研究者(計8名)が、日頃の免疫学研究の成果を英語でプレゼンテーションし、今後3年間の研究事業をさらに発展させるべく、活発な質疑応答を行いました。また、当日は、カリフォルニア大学サンディエゴ校教授の清野宏教授をアドバイザーとしてお招きし、建設的な多くの助言を頂きました。令和2年3月にも、同様の東北大学学内連携セミナーを開催することで、研究拠点形成事業で得られた研究成果の質を高めていきたいと思えます。また、本研究拠点形成事業を通して、東北大学の免疫学連携をさらに強固なものにしていきたいと思えます。



野地智法(東北大学大学院農学研究科、食と農免疫国際教育研究センター)